



スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行／秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916

平成29年度、秋田県スポーツ少年団は、「フェアプレイで秋田を元気に!」をテーマに掲げ各種事業をスタートさせた。特に夏季は本部主催事業や派遣事業等、各地で子どもたちの思い出に残るイベントが多数開催された。

第54回秋田県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール

- 期 日 7月28日～30日
- 会 場 仙北市 田沢湖スポーツセンター
- 参加者 小学5年以上の団員48名、リーダー11名
- 概要：県内の団員が一堂に集い交流を深めるとともに、スポーツ少年団ジュニアリーダーを養成する2泊3日の宿泊研修が行われた。県リーダー会が考案、運営する各種プログラムに団員たちは積極的に取り組んだ。
- 主な内容：駒ヶ岳登山、講義、レクリエーション、スポーツ活動、キャンプファイヤー、調理実習、小運動会

参加者の感想

象潟バスケットボール (にかほ市) 安藤 琉杏 (小5)

心に残ったことの一つは「リーダー会」のことで、このリーダースクールのためにプログラムをたくさん考えて、楽しませてくれていることがわかりました。2つめは登山です。登っている途中で粘土みたいな土があったり、がけつぷちのところで落ちそうになったりしましたが楽しかったです。3つめはキャンプファイヤーです。ダンスやゲームをした「森の精」がおもしろかったし、トーチの火や女神も印象に残りました。



御野場男子ミニバスケットボール (秋田市)

戸田 拓 (小6)

このリーダースクールで楽しかった事業が5つあります。一つめは登山で、上まで行くのはつらかったけど下りるときはとても景色がきれいでした。二つめは野外炊事です。みんなで作ったカレーがとてもおいしかったです。三つめは、みんなで歌ったりおどったりしたキャンプファイヤーです。四つめは自分の分団が5位になった運動会で、大縄とびやゲームに取り組みました。五つめは泊まることです。みんなで話して、とてもおもしろかったです。今回参加して、中学生や同じ分団の人とたくさん友達になりました。また、講義などでも、いろいろなことを学びました。

SNOW (大館市)

三政 千穂美 (中1)

毎回「楽しい友達できるかな」と不安だけど、今回も3日後には新しい友達もいて、いい思い出もできて嫌なことなど何もありませんでした。高校生になればリーダーとして参加するかもしれないので、リーダーのことももっといっぱい知り、難しいことも積極的にがんばっていきたいと思います。何も言わないよりハキハキとみんなをまとめられるように、新しいことにチャレンジしたいです。来年も、はりきって来たいです。

秋田県リーダー会

新山 郷 (高1)

今回初めてリーダーとして参加し、自己紹介レクを担当しましたが、もう少し明るく動きながらやれば、と後悔しました。担当の2分団では、すぐに団員が名前やあだ名で呼びあい打ち解けていたので安心しました。一人一人の個性が強く不安でしたが、先輩のアドバイスを参考に実践してみるとうまくいきました。リーダーとしてはまだまだ力不足で、まとめることがやっとでしたが、多くの人の考えに触れることができてよかったです。ブロック大会など、いろいろな機会に積極的に取り組みたいと思います。

第48回東北ブロックスポーツ少年大会

- 期 日 8月3日～5日
- 会 場 山形県 飯豊少年自然の家
- 参加者 中高校生20名 秋田県より3名
団 員：石塚陽向、渋谷圭佑、竹内光晟
(湯沢FCサンマリッツJYスポーツ少年団)
指導者：村山一郎(湯沢市)
- 概要：地元山形県スポーツ少年大会の小学生約70名も合流したことで中学生がリーダーとして役割を果たせる大会となった。
- 主な内容：野外活動(宝探しゲーム)、レクリエーションゲーム各種、旗づくり、野外炊飯(包み焼ピザ)、スイカ割り、キャンプファイヤー、花笠踊り

参加者の感想

指導者 村 山 一 郎

参加者それぞれが視野を広げ、体験交流を通して仲間との親睦を深めたいという願いを持って参加していた。キャンプファイヤーのスタンプでは現地地習った花笠踊りを全員で踊って盛り上がり、郷土色豊かなものとなった。

活動のメインであった川遊びが増水で中止となったのが残念であったが、代わりに山形県リーダー会によるレクリエーションゲームで十分に楽しむことができた。開催地の地域性に触れ、運営スタッフの献身的な取り組みに感謝している。

竹 内 光 晟(中2)

僕は人としゃべることが苦手で、この会で苦手をなくそうと思いました。最初はチームの人とばかり話していましたが、チームのみんなが他の県の人としゃべってくれたおかげで、自分もきんちょうなくしゃべることができました。中学生だけのレクリエーションも、他の県の人と楽しむことができました。

これからは、知らない人でも人に頼らず自分の力で積極的に話をして友達になっていきたいと思いました。

石 塚 陽 向(中2)

今回、自分がこの大会に行きたいと思ったのはコミュニケーションをとれるようになりたいと思ったからです。人と話したり、何かしたりすることが苦手で、しかも会ったことのない人ばかりで最初はどうしよう、と思っていたのですが、みんなから話しかけてくれてとても接しやすく親近感を覚えました。みんなと協力してピザを作ったりキャンプファイヤーをしたりして、いつの間にか、自分から話かけることができていました。

今回の体験でコミュニケーションの大切さを知りました。

渋 谷 圭 佑(中2)

この大会に参加し、初めて会う東北6県の小中高生とピザ作りやキャンプファイヤーなどをして交流し、コミュニケーションの大切さを知りました。

これからの日常生活では、自分から話かけるなどして、たくさん友達をつくっていきたいです。



東北ブロックスポーツ少年団交流大会(競技別)等

○ サッカー

7月16日～17日 秋田県
西目カントリーパークサッカー場

参加団 秋田ロク・フットボールクラブスポーツ少年団(秋田市)
AFCユニーアンJrスポーツ少年団(秋田市)

○ 全国軟式野球東北Iグループ代表決定大会

7月8日 岩手県
滝沢市総合運動公園球場

参加団 能代市第四小野球クラブスポーツ少年団(能代市)
成 績 2位

第55回全国スポーツ少年大会

- 期 日 7月28日～31日
- 会 場 新潟県 国立妙高青少年自然の家、国際自然環境アウトドア専門学校 他
- 参加者 全国より253名 秋田県より中学生5名
団 員：齋藤凜太郎、佐藤柚樹、佐藤来夏、佐藤梨奈、千葉向葵
(大曲バドスピリッツスポーツ少年団)

指導者：小松慎吾 (大仙市スポーツ少年団)

● 概要：『今そのトキ!!妙高でひろげる「WA」の翼』を大会テーマに、アウトドアスポーツや、パラリンピック種目など、普段触れる機会が少ない種目に取り組みながら、全国の仲間と交流を深めた。日独同時交流のドイツ団も合流し、国際交流にもつながった。

● 主な内容：レクリエーションゲーム、車いすバスケットボール、卓球バレー、ポッチャ、グラウンド・ゴルフ、「苗名滝」見学、スキージャンプ競技見学(オリンピック教育)、キャンプファイヤー、クライミング、トランポリン

参加者の感想

千葉向葵(中1)

今回初めて参加した全国スポーツ少年大会ではたくさんの体験をしました。その中で最も心に残っているのは障害者スポーツ体験です。車椅子バスケットボール、ポッチャ、卓球バレーは、障害がある人もそうでない人も楽しめるスポーツでした。特に卓球バレーは6人のチームで協力して行うスポーツだったので、とても盛り上がり、班の人たちと仲を深める事ができました。

班別の交流も心に残っています。それぞれの県の方言を紹介したのが特におもしろかったです。聞いた事のない方言や、みんなが知らない秋田の方言を教えたりして楽しかったです。

大会のスローガンのとおり、妙高でたくさんの「WA」が広がったと思います。とても良い体験をさせてもらえる大会でした。

齋藤凜太郎(中2)

今回参加した全国大会では、たくさんの経験を積むことができました。

その1つは、初対面の人とのコミュニケーション能力です。僕自身、人との会話はあまり得意ではないのですが、今回の全国大会ではうまく話すことができました。やはり、一緒の時間を共有することがとても大切だと分かりました。

2つめは、パラリンピック大会の種目を知れたということです。これまでは、障害のある人たちがやるスポーツは、なにも知らなかったのですが、今回いろいろなスポーツを知れてよかったです。

最後に今回の経験をいかして、これからも人とのコミュニケーション能力を大切にして、いろいろな種目のスポーツを知っていきたいです。

佐藤来夏(中1)

私は初めて行った新潟県の妙高高原で、いろいろな体験をしました。

一つ目は、車いすバスケや障害のある人のためのスポーツを通しての活動です。私は、どんなハンデがあってもやりたいことはできるということを学びました。二つ目は、他の県の新しい友達ができたことです。最初は不安でしたがたくさんの交流活動をしていくうちに仲が良くなっていきました。三つ目は、全体を通しての活動です。短い間だけでしたが、とてもいい思い出になりました。

最初はとても不安なことも多かったですが、終わるころには、「楽しかったー。」と思えるようになったので良かったです。とても楽しく過ごせました。



秋田県参加者



卓球バレーに挑戦



ドイツ団と交流

第44回日独スポーツ少年団同時交流 派遣事業

- 期 日 7月31日～8月17日
- 受け入れ先 ウルム体操クラブ(ドイツ南部)
- 参加者 工藤毬乃(大館市)、金野純(能代市)
(東北Iグループは他県団員1名、指導者1名計4名)

○主なプログラム 最初と最後にフランクフルトで日本団の全体プログラムを実施。8月2日より地方へ民泊し受け入れ団体のプログラムを体験した。どのプログラムも現地の同年代の青少年と過ごし、交流を深めた。また、ディスカッションテーマ「私たちにできるフェアプレイ～周囲へのリスペクト～」については、日本で事前に研修を重ね現地でも有意義な意見交換ができた。

【地方プログラム】

8/2 ウルムへ出発、市役所表敬訪問

8/3～8/13 地方プログラム

洞窟博物館見学、川でパドリング、ウルム市内見学、醸造所・ジョッキ博物館見学、ノイシュヴァンシュタイン城へハイキング、ユースホステル宿泊、世界遺産ヴィース教会見学、プレツェル作り、ディスカッション、モービークライミングパーク、修道院見学、鍛冶屋見学、ウルマーミュンスター教会の塔に上る、体操、バーベキュー、ロートアンダーロートの村祭り、ホッケー、さよならパーティー

8/14 ベルリンへ移動、全体さよならパーティー



日独同時交流を通して感じたこと

SNOWスポーツ少年団 工藤 毬乃

東北Iグループは指導者1名、団員3名の少人数グループでした。別の環境であったこと、少人数で自分の責任の大きさから、いつもより冷静な気持ちで物事を見ることが出来たので、統率力や感情制御力の向上につながったと思います。

ドイツ側との交流は、研修先とホームステイ先が2週間変わらなかったのが、時間をかけてじっくり交流することが出来ました。受け入れてくれたアナは、昨年日独同時交流に参加していて、交流が続いている実感がわきました。英語は得意ではなかったのですが、直接会って話すのであれば大抵のことは伝わるし、単語帳や翻訳アプリを駆使すればほとんど問題はなかったです。異文化を知ることで、日本の良いところ悪いところどちらも見え、これからの生活や考え方が変わると感じました。

ドイツでは老若男女、様々な場所でスポーツに触

れることが出来ます。それは、生涯スポーツの考え方が浸透しているからだと思います。日本はスポーツに関わっている人口が少ないと思うので、スポーツを楽しむことをもっと身近に感じる事が出来ればいいなと感じました。

私はドイツに行って自由な気持ちを学ぶことが出来ました。日本にいても心を穏やかに保つきっかけはたくさんあると思います。見逃さず、リラックスした気持ちで人と触れ合えれば、もっと自分に自信がつくし、必ず関わる人々にもいい影響があると思いました。また必ずドイツを訪れ、成長した自分でお世話になった方々に会いたいと思います。

ドイツでの思い出と自分に欠けていたものの発見

きみまち柔道スポーツ少年団 金野 純

今回は、以前受け入れ側として参加した時とは違い頼れる相手も限られ見知らぬ土地に行くということもあり、始めは不安だらけでした。しかし、同じグループのメンバーやドイツのホストファミリーなど受け入れてくださった方々のおかげでその不安もあっという間に消えていました。

ドイツでの活動は初めての事が多く、歴史的建造物やドイツの国会議事堂の見学、見たことのないミニゴルフやホッケーなどすべての体験がとても有意義なものでした。特にドイツ滞在中のほとんどがホームステイであったことはとても良い経験になりました。

約2週間、ドイツの生活に触れ、ドイツの人々の生活や考え方を知ることができました。その中でも自分の考え方や意見、夢を持ちそれに邁進する、それが日ごろの生活やスポーツなどへの取り組み方に現れていた点は、今後見習わなければいけないと思いました。



スポーツクラブで体操体験



クライミングパーク



クラブハウスの前で



ウルム市散策

第40回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

夏季は4種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



- サッカー 5月13日～6月11日(TDK総合スポーツセンター)
- 参加数 30団、570名
- 優勝 秋田ロク・フットボールクラブ



- 軟式野球 8月7日～10日(さきがけ八橋球場)
- 参加数 16団、337名
- 優勝 角館小学校クラブ



- バレーボール 7月29日・30日(県営トレーニングセンター)
- 参加数 52団、705名
- 優勝(各ブロックごと) ①牛島、②VC YOKOTE、③早口、④PEACH PEACE、⑤大雄、⑥大曲、⑦高清水、⑧鷹巣東、⑨BONDS、⑩仙北、⑪横手SEIBU、⑫きたたら、⑬中仙、⑭勝平、⑮港北、⑯湯上



- 柔道 7月30日(大仙市ふれあい体育館)
- 参加数 24団、248名
- 優勝 中学生 男子 御野場石川道場、女子 小町柔道クラブ
小学生 男子 小友柔道、女子 小友柔道



お弁当の配達承ります。

会議、研修会、各種スポーツ等

630円より様々な種類のお弁当をご用意しております。

※配達には10個からとさせていただきます。

歓迎会、送別会

(ご予算に応じて承ります。)



青少年交流センター
有限会社 県庁食堂

レストランユースパル

秋田市寺内神屋敷3-1
TEL. 018-880-2310
FAX. 018-880-2319



目ざせ世界の頂点!



がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする
松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760(代)
FAX 018-863-0005
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>
E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

旭南バレーボールスポーツ少年団(秋田市)バレーボール11名(小3~小6)旭南小学校体育館 金澤徳石佳

秋田市立旭南小学校 6年 伊藤 優衣

私たち旭南バレーボール部は、現在11名で活動しています。私たちの目標は最後まであきらめずにボールを追い続けることです。そのために、大きな声を出しあい、ボールを見失わないように全員で頑張ります。

そして、団活動で普段感じていることは、部員同士が仲が良いということです。チームプレーが重要なので、苦しい時ははげまし合い、ナイスプレーはみんな喜びあっていきたいです。

これからも、部員一丸となり、勝てるバレーを目指して楽しくプレーができるように一生懸命頑張ります。



西仙北ベースボールクラブスポーツ少年団(大仙市) 野球35名(小3~小6) 西仙北小学校野球場 田村 威志

大仙市立西仙北小学校 6年 佐々木隆介

僕たちは、野球が大好きな西仙北小学校の35人です。全県優勝を目標にバッティングを中心とした練習を重ねてきました。切れ目のない強力打線が持ち味です。悔しい思いもたくさんしてきましたが、どんな時もみんな一緒だと頑張れました。高内宮賜杯全県大会では、「全員で楽しんでいこう。思い、きり遊んでこい。」と監督が声をかけてくれ、思いきってプレーすることができました。優勝を手にし、夢を叶えることができました。最高に嬉しかったです。チーム一つとなって勝ち取った優勝は僕たちの宝物です。僕たちをカー杯へ援し、温かく支えてくださっている方々に感謝して、これからも大好きな野球を頑張っていきたいです。



峰浜スポーツ少年団(八峰町) 野球・ミニバス 27名(小2~小6)

峰浜小グラウンド 峰浜小体育館 小林 広行

八峰町立峰浜小学校 6年 斎藤 里桜

峰浜スポーツ少年団には、野球とミニバスがあり、私はミニバスの団員として活動しています。11人しかいないので、人数はギリギリですが、小学校統合1年目で全県出場をはたした昨年度のように、全県大会を目標に毎日の練習をがんばっています。みんな仲が良く、プレー中にかげ合うドンマイやナイスなどの声を聞くと力がわくし、この仲間が良かったなと思います。毎日体育館に応援に来てくれる家族や指導してくださるコーチへの感謝の気持ちを忘れずに、少しでも長く今の仲間とプレーできるように、強いチームになりたいです。私も、チームを支えられるように、引っ張っていただけるように努力していきたいと思えます。



汚れ

消しゴムの汚れが目立たず、キレイに使えます。

消しゴムモノ PE01 ブラック 63円(本体価格60円)



Tombow

PLASTIC ERASER
MONO

汚れに強いブラックボディ

消し
グズ

紙面上の消しグズが見やすく、処理が容易です。

消しゴムモノ PE04 ブラック 105円(本体価格100円)



MONO

株式会社トノボ鉛筆
<http://www.tombow.com>

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

自分に合った競技を見つけて

角館ジュニアアルペンスポーツ少年団

代表指導者 新山 仁

田沢湖スキー場をメインゲレンデとしてスキー場のオープンと共に活動しています。6月当初の団員数は少なく、シーズンに入ってから多くなる事を期待しています。アルペンを目指す団員が少なく単独での活動が困難になり、同じような状況の団と協力して活動しているところです。刻々と変化していく中、瞬時に状況を判断して対応して行く能力は他のスポーツにもきっと役立つと思います。団員のほとんどが他の団に所属しています。多くの競技を体験して自分が目指したい競技を是非見つけて欲しいと思います。



全員野球で最高の夏を

脇一野球スポーツ少年団

親の会 村井 稔

脇一野球スポーツ少年団は、1年生から6年生までの女子3人、男子10人で活躍しています。

みんな野球が大好きで、日々の厳しい練習でも時折見せる笑顔が、「本当に野球が好きなんだなあ」と実感させてくれます。そして、それを見ている親たちにも笑顔が伝染していきます。!(^^)!

雪解けとともに野球シーズンがスタートします。子どもたちはもちろん、私たち親にとっても待ち遠しい瞬間です。4月から練習試合が行われ、親が審判や得点版、ボールボーイなどを担当します。暑い日の試合は、子供も親も体力勝負です。また、お母さんたちは、その日は早起きして弁当を作り、終われば泥んこのユニフォーム洗いです。

ただ、子供たちが見せる最高のプレー、最高の笑顔が、私たちを支えてくれています。スポ少に入り、心も体も鍛えられ、成長したのは子どもだけではなく、「親も一緒に成長しているんだ」と実感しています。子ども、親が一致団結してつかんだあの優勝は忘れられません。最高の夏を、ありがとう。



お客様の「困った」を全力で解決します！

INEX

-Since 1948-

株式会社

アイネックス

<http://www.inecx.co.jp>

パソコン専門店

COM

- 本社：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- 建装事業部：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- IT事業部：〒010-0041 秋田市広面字鍋沼37
- 能代営業所：〒016-0864 能代市字鳥小屋32-5
- 大仙営業所：〒014-0047 大仙市大曲須和町2-2-20

- Tel 018-887-5560 Fax 018-835-5666
- Tel 018-836-0330 Fax 018-835-5666
- Tel 018-831-3131 Fax 018-831-2211
- Tel 0185-55-3780 Fax 0185-55-3750
- Tel 0187-62-6630 Fax 0187-62-6610



平成 28 年度日本スポーツ少年団顕彰

日本スポーツ少年団より、功績のあった登録指導者、市町村スポーツ少年団に贈られる賞で、平成 28 年度は個人6名と1団体が受賞した。秋田県スポーツ少年団表彰とともに、平成 29 年度総会の席上で伝達された。

- 市町村 大館市スポーツ少年団
- 指導者 村山一郎(秋田市)、後藤吉則(秋田市)
仁村隆司(秋田市)、大坂長正(能代市)
村上祐二(能代市)、佐々木繁夫(大崎市)

平成 28 年度秋田県スポーツ少年団表彰

○功労者

旭 和宏(秋田市)、細井康広(秋田市)、淀川幹夫(秋田市)、大淵撰雄(能代市)、斉藤孫一(能代市)、大高勝三郎(能代市)、山信田勢津子(大崎市)、中川正行(大崎市)、民谷研一(大崎市)、三浦朝光(潟上市)、加賀谷靖(潟上市)、菅原のり子(潟上市)、佐々木貞雄(にかほ市)、伊藤鉄郎(にかほ市)

○優秀指導者

小松正人(秋田市)、庄司 弘(大館市)、土田真澄(由利本荘市)、佐藤啓子(由利本荘市)、佐藤初男(由利本荘市)

○優秀単位団

旭川女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(秋田市)
下北手野球スポーツ少年団(秋田市)
八橋剣道部スポーツ少年団(秋田市)
常盤小学校スポーツ少年団(能代市)
男鹿杉っ子バレーボールスポーツ少年団(男鹿市)
西仙北MBBCスポーツ少年団(大崎市)

○優秀母集団

明德スポーツ少年団育成会(秋田市)
五小フェニックススポーツ少年団親の会(能代市)
能代市体操スポーツ少年団父母の会(能代市)
山田ミニバスケットボールスポーツ少年団(湯沢市)



平成 29・30 年度 県本部役員・事務局

(平成 29 年 7 月 1 日現在)

- ・本部長 福原幸成
- ・副本部長 牧野三千雄、佐々木政義、相庭安一、佐々木とも子
- ・常任委員 田口 将、大滝 朗、伊藤 聡、佐々木重信、
稲田 修、伊藤寛明、松岡伸幸、小笠原重夫、
鎌田耕平、菊地 隆、菊池勇拓、村山一郎、
佐藤政博、青崎雅子、大山重幸、畑山幸代、
吉野ショウ子、高橋典子
- ・常任顧問 蒔苗昭三郎、小笠原直樹、飯坂尚登、湊 昭策、
木浪恒二
- ・顧問 伏見晃一、一関俊和
- ・事務局 佐藤重満、富樫恵子、二階堂直子

平成 29・30 年度 指導者協議会運営委員会

- ・運営委員長 小笠原重夫
- ・運営副委員長 畑山幸代、吉田尚之、高橋優功
- ・運営委員 佐藤 亨、齊藤 悟、新堀賢一、佐藤政博、
大滝 朗、杉山章一、村山一郎、松岡伸幸、
田口将、福原幸成、佐々木とも子、相庭安一、
牧野三千雄、佐々木政義、吉野ショウ子、
高橋典子

東京 2020 応援プログラム 全国一斉活動について

日本スポーツ少年団では 2020 東京オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの一環として、全国一斉に社会貢献活動を実施することとなりました。

これを受け秋田県スポーツ少年団では、全単位団参加による「クリーンアップ活動」に取り組みます。

各市町村本部からの案内に従い、期限(12月31日)まで取り組み日本スポーツ少年団のオンラインシステムで報告しましょう。

<http://www.japan-sports.or.jp/club/tabid/1100/Default.aspx>

訃 報

秋田県スポーツ少年団副本部長

児玉 一彦氏 平成 29 年 6 月 3 日 ご逝去
永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されました。
ご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。



スポーツ安全保険



公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 TEL018-883-0360 電話受付時間 午前8時30分~午後5時
秋田県スポーツ科学センター内 (公財)秋田県体育協会内 (土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全協会 検索

インターネットからも加入受付
を行っております。詳しくは、
ホームページをご覧ください。



携帯電話から
資料請求ができます。

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。